

## 「湘南藤沢コンソーシアム」の設立概要について

### 1 目的（設立趣意）

藤沢市は、慶應義塾大学、湘南工科大学、多摩大学、日本大学が設置される湘南随一の学園都市として、アイデンティティと都市ブランドを形成しています。

また、市内4大学は、それぞれの専門分野に多くの知的・人的資源を有しています。

これらの資源は、地域共有の財産であり、市内4大学を「知の宝庫」として、行政との緊密な連携、協働を推進することにより、地域の課題に迅速かつ適切に対応することが可能になるとともに、官学双方の発展と市民生活の質的向上が達成されるものと考えます。

藤沢市と藤沢市に立地する各大学は、それぞれの有する知的・人的資源を活かして、地域貢献を前提とした連携、協働を進め、さらに市民、市民ボランティア、NPO、企業等の様々な主体が社会の担い手となる新しい公共を形成することにより、市民力、地域力、行政力と自律した都市力の一層の強化による魅力溢れるまちづくりに資するため、ここに湘南藤沢コンソーシアム（以下「コンソーシアム」といいます。）を設立します。

### 2 コンソーシアムのめざす方向性

コンソーシアムは、大学の個性と魅力、知的・人的資源を集積した「創造と知力、活力があふれる『ナレッジシティ湘南藤沢』」をコンセプトとして、3つのビジョン（将来像）のもとに、地域貢献の視点に立った知的集積にもとづく大学間や行政との連携、協働を進めます。

#### (1) ビジョン1 「豊かさをはぐくむまち」

新産業、観光振興等とこれらにもとづく国際交流を推進することにより、市民一人ひとりが市民生活や都市の活力と成熟を実感できるとともに、湘南藤沢のブランド力を強化する「豊かさをはぐくむまち」の実現をめざします。

#### (2) ビジョン2 「市民、地域がつながるまち」

生涯学習や健康づくり、地域まちづくりを推進することにより、湘南藤沢の文化を醸成しつつ、大学力と行政力によって市民、地域の「つながり力」を高

め、学習と成長のネットワークを育てる「市民、地域がつながるまち」の実現をめざします。

### (3) ビジョン3 「大学の魅力があふれるまち」

4大学間の学術、学生交流を推進することにより、キャンパス内外に4大学が持つ個性や知的・人的資源等の魅力が発信され、学生、教職員だけでなく、市民、地域にも共感される「大学の魅力があふれるまち」の実現をめざします。



### 3 コンソーシアムの進め方

コンソーシアムでは、めざす方向性（ビジョン）の実現を図るために、次の3点を構成団体で共有し、大学と藤沢市だけでなく、多くの地域の活動主体の協力、参加をいただきながら事業を展開します。

- (1) 地域貢献を主眼とし、4大学と藤沢市が連携、協働して、新産業、観光振興等の地域活力の創出や市民を中心としたサービス（Citizen Centric Service）の提供を進めます。
- (2) 4大学間の学術、学生交流はもとより、藤沢市と大学との公民連携、さらに企業や各種団体との発展的公民連携を進めます。
- (3) 「できることを少しずつ、しかし着実に進めていく」という理念のもとに、コンソーシアムと市民にとって有効、有益な活動を進めます。

#### 4 コンソーシアム事業の検討

##### (1) 大学，企業，行政の連携，協働による地域活力の創出

新産業，観光振興等について，大学と市，商工会議所，商店会連合会等の経済団体とが連携，協働して，インターンシップや共同研究，シンクタンク機能等での地域活力の創出をめざす産学官連携の取組みを進めます。

##### (2) 湘南藤沢の文化の醸成

各大学による市民講座の実績や，知的・人的資源を活用して，地域貢献の視点から，市民の生涯学習や健康づくり，地域まちづくりに向けた取組みを進めます。

##### (3) 大学間の連携，協働

4大学の学部構成が異なる強みと互いの特性を活かし，学生の利便性，創造性を高めていくために，単位互換制度やテーマに基づく共同講義の検討，学術交流，学生交流等の取組みを進めます。

##### (4) 4大学の海外大学との協定を活用した国際的連携の推進

4大学の海外大学との協定を活用し，学術，経済，産業等を起点とした国際的連携の推進に向けた取組みを進めます。

##### (5) テーマ別・体系的な事業推進

藤沢市新総合計画や生活シーン，テーマ等をもとにした，事業の体系的な検討を進め，コンソーシアムのビジョンの実現に向けたパッケージとしての事業推進に向けた取組みを進めます。

##### (6) コンソーシアム活動拠点の構築

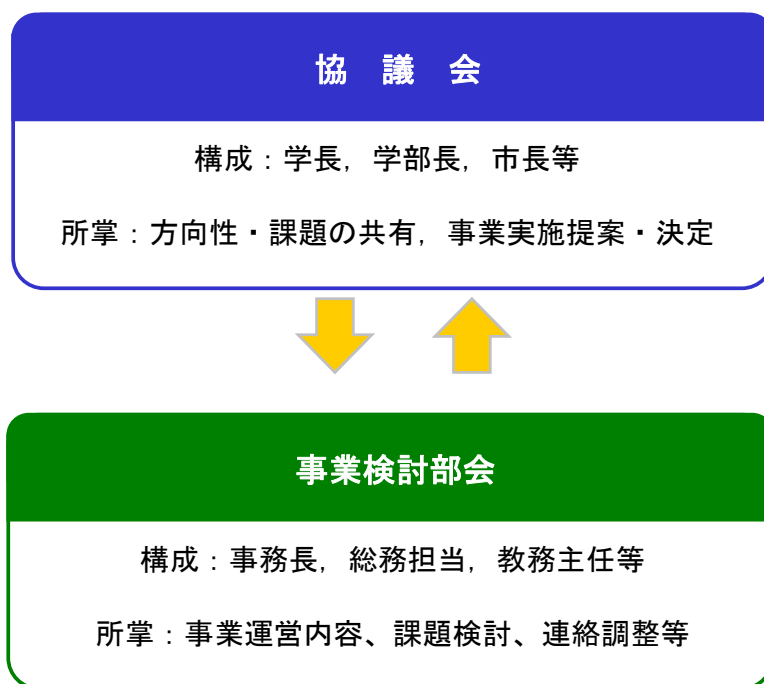
コンソーシアムの事業を推進していく上で必要となる，活動拠点のあり方についての検討を進めます。

#### 5 コンソーシアム設立・運用スケジュール

2011年（平成23年）10月に基本協定書の締結によりコンソーシアムを設立後，2013年（平成25年）3月を目標に具体的な事業検討を進め，実施可能なものから段階的に事業を展開します。

## 6 コンソーシアムの検討組織

各構成団体の代表者等からなる協議会がコンソーシアムに関する方向性と課題の共有，決定等を所掌します。下部組織として事業検討部会を設置し，部会が事業の運営内容，課題検討，連絡調整等を担当します。



2011年（平成23年）10月4日

慶應義塾大学総合政策学部学部長

國領 二郎

湘南工科大学学長

谷本 敏夫

多摩大学グローバルスタディーズ学部学部長

松林 正一郎

日本大学生物資源科学部学部長

河野 英一

藤沢市長

海老根 靖典